



《学校教育目標》 『感動のある文洋中学校』

【 本年度生徒総会を終えて 】

『百聞は一見にしかず』～その先に生まれるパワーで、学校生活を力強く

6月18日(火)には、本年度の生徒総会が実施されました。総会の終わりには、私から全生徒へのメッセージとして、「4月から育んだ一人ひとりの経験を生かし、生徒会活動をより力強く行ってほしい。」との願いを込めて、以下のように話をしています。お読みいただき、ご家庭でもお子様が体験を通じて学んだこと、それを生かしていきたいことなど、お話しいただけると幸いです。

総会の終わりにあたり、とても簡単な質問を全員にしたいと思います。「生徒会って、誰のことですか？」これは、いつもみなさんが把握していることですから、すぐにわかりますね。

そして、生徒会長はじめ生徒会役員のみならず、「この文洋中学校という船を、どのように進めていくか。進路を定めて、船を進める舵取りをする」役割を果たしています。その上で、船を動かしているのは君たち自身ですね。

ここで、もう一つ別の質問をします。生徒会は英語でなんと言うでしょう？

生徒会は英語で”Student Union“と言います。Student はもちろん「生徒」ですよね。では”Union“は何でしょう？この言葉、よく「連合」と訳されますが、もともとは「一致団結」という意味です。「生徒が一致団結する」ことは一人でできますか？

そこで、最初の質問に戻りましょう。「生徒会はみなさん一人ひとり」だから、一致団結するには、全員の力が必要なのです。一致団結パワーで生徒会活動を行うことで、この文洋中学校をよりよい学校になっていくのです。

では、その一致団結パワーを強くしていくにはどうするか？最後に、この場を借りて、先日から話してきたあの「ことわざ」の話を締めくくりましょう。

新学年となって、みんなそれぞれの学年で実際に体験する活動（1年生の宿泊学習、2年生の職場体験学習、3年生の修学旅行）を行ってきました。出発する前に、送りだした時の言葉を覚えていますか？

『 百聞は一見にしかず 』

「何度も耳にするより、実際に体験した方がよくわかる。」ということでした。実際に体験した後、この言葉を、こう変えてみなさんに話しました。

『 百見は一考にしかず 』

「実際に体験したら、そこから何を学んだか考えなければならない。」と君たちに求めたのです。そして、今日から君たちにはこの言葉に変えて提示します。

『 百考は一行にしかず 』

もうわかりますね。「しっかり考えたら、それを実行に移すことが大切だ。」という意味です。

体験から学んだことを生かして、たくましく活動して下さい。そのパワーを生徒会活動に生かしていけば、文洋中学校の学校生活がよりいっそう充実していくことは間違いありません。これからのみなさんの動きに、期待しています。



グラウンドの掲示板も紫陽花が満載です

